

2019年3月期第2四半期決算

IR説明会

株式会社 極 洋 (証券コード: 1301)

<https://www.kyokuyo.co.jp>

食卓に、海のおいしさと、おどろきを。



<https://www.seamarche.jp>



目次



新中期経営計画『Change Kyokuyo 2021』スタート

- ・基本方針と目標値 3ページ
- ・事業戦略 4ページ
- ・新経営体制始動 5ページ

2019年3月期 第2四半期 決算概要

- ・計算書類 7～15ページ
- ・事業セグメント別の状況 16～22ページ

2019年3月期 下半期施策及び業績予想

- ・事業セグメント別の施策 24～25ページ
- ・業績予想 26ページ
- ・設備投資計画 27ページ



新中期経営計画 『Change Kyokuyo 2021』 スタート



基本方針と目標値



➤ 基本方針

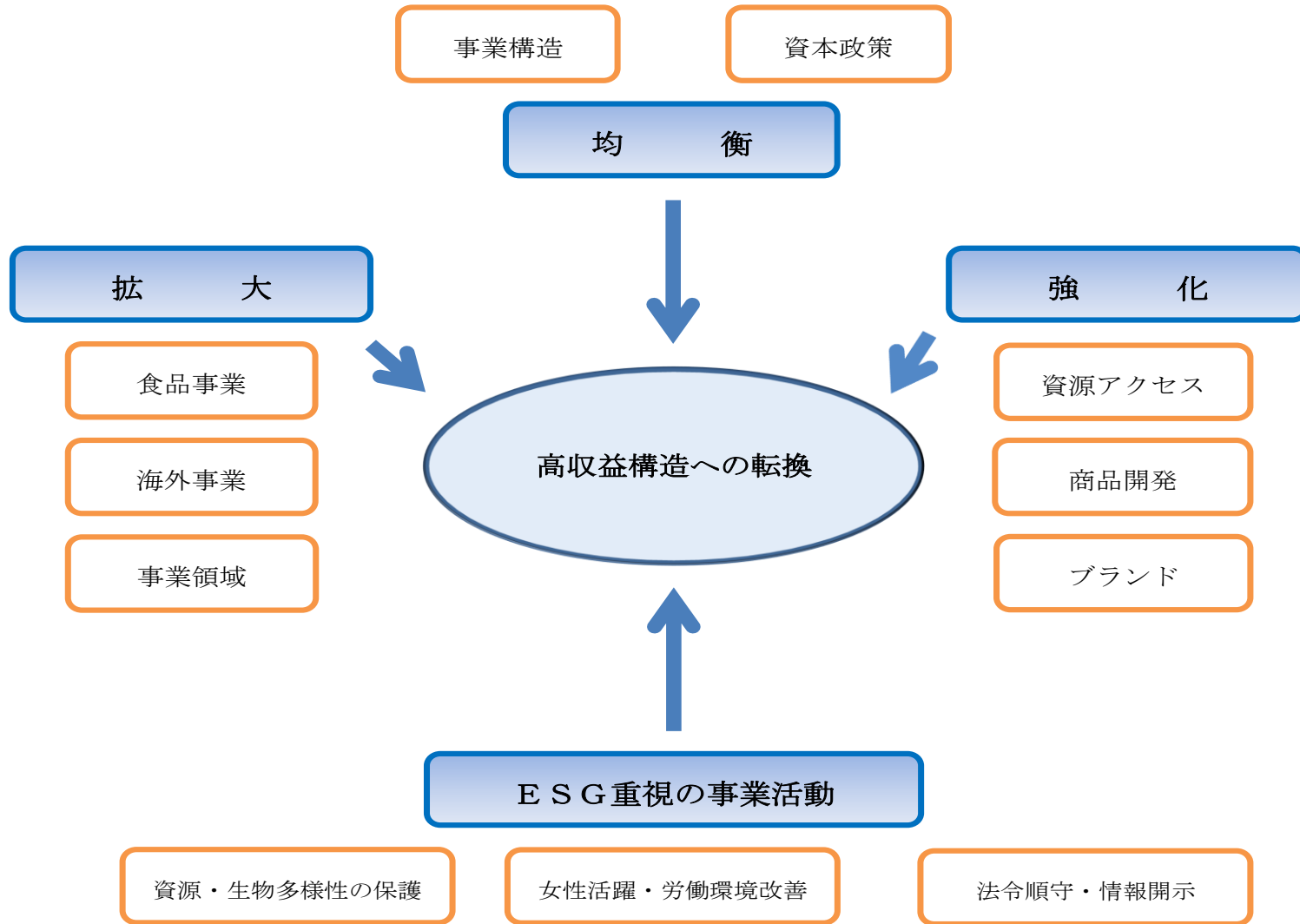
魚を中心とした総合食品会社として
高収益構造への転換をはかり、資源、環境、労働などの
社会的要請を踏まえ、事業のウイングの拡大と
時間価値の提供により企業価値の向上を目指す

➤ 新中期経営計画の最終年度(2021年3月期)目標値

売上高	3,000億円
営業利益	60億円
営業利益率	2.0%
海外売上高比率	15%
自己資本当期純利益率(ROE)	10%
自己資本比率	30%
有利子負債資本倍率(D/Eレシオ)	1.7倍以下



事業戦略



➤ 新経営体制

代表取締役会長：今井賢司

代表取締役社長：井上誠

専務取締役：酒井健、芥川淳

常務取締役：松行健一

取締役：松尾達二、近藤茂、木山修一、田中豊、西村齊之

社外取締役：三浦理代、小畑一雄

➤ 企業CMのテレビ放映開始

創立以来初となる企業CM「みんなのキョクヨー」篇を制作し、2018年7月よりテレビ放映を開始。CMソングの「キョクヨーのうた」はシンガーソングライターのつじあやのさんによる書き下ろし。





2019年3月期 第2四半期 決算概要



計算書類



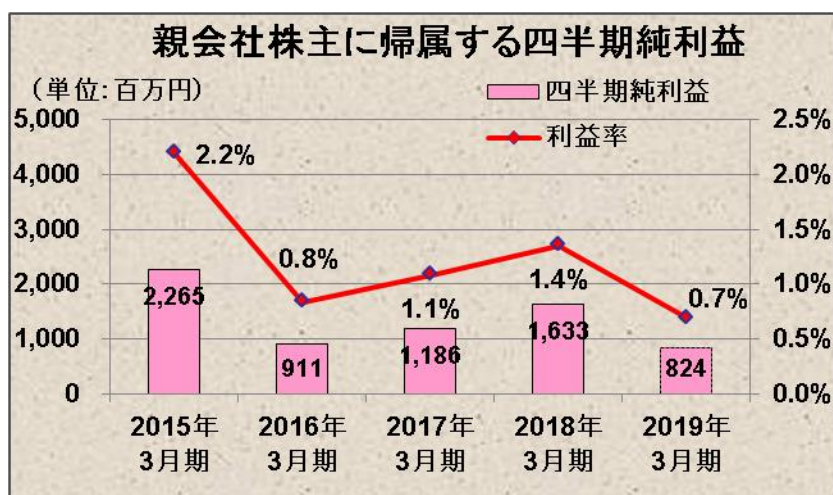
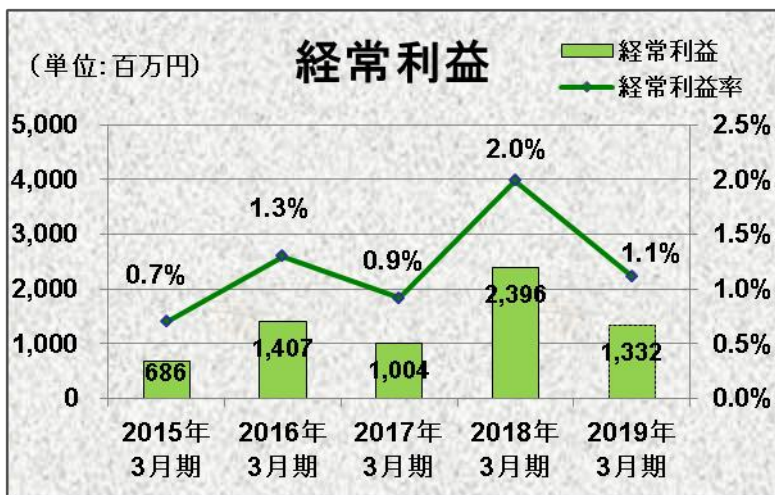
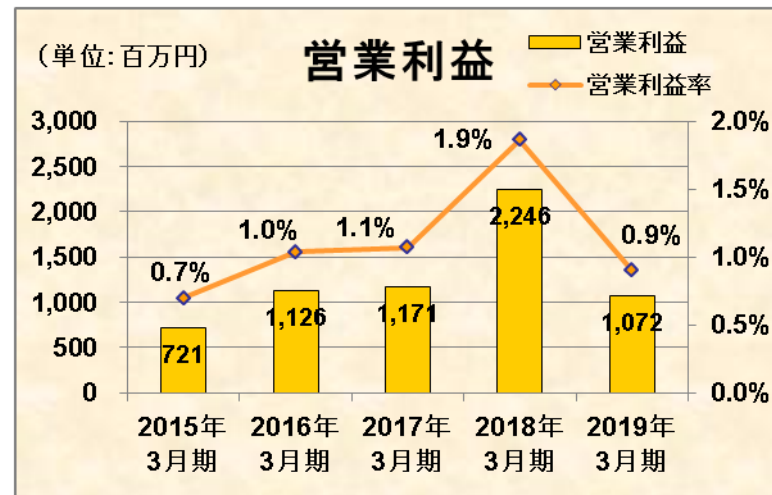
1. 連結損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前年同期比		当初 通期予想	当初通期予想比
	第2四半期連結累計期間		(増減金額)	(増減比率)	連結累計期間	
	2018年3月期 (前期)	2019年3月期 (当期)			2019年3月期 (当期)	(達成率)
売上高	120,458	119,202	△1,255	△1.0%	267,000	44.6%
営業利益	2,246	1,072	△1,174	△52.3%	4,800	22.3%
営業外収益	349	499	149	—	—	—
営業外費用	200	240	40	—	—	—
経常利益	2,396	1,332	△1,064	△44.4%	4,600	29.0%
特別利益	5	4	△0	—	—	—
特別損失	2	208	205	—	—	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,633	824	△808	△49.5%	3,200	25.8%

- ・ 当 初 予 想 : 2018年5月10日に発表した2019年3月期業績予想数値
- ・ 売 上 高 : 冷凍食品は伸長したが水産商事などが減収となり、前期比12億円の減収
- ・ 営 業 利 益 : 好調であった前期に比べ水産商事、鯉・鮪などで減益となり、前期比11億円の減益

2. 第2四半期連結業績の推移





計算書類



3. 個別損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前年同期比	
	第2四半期累計期間		(増減金額)	(増減比率)
	2018年3月期 (前期)	2019年3月期 (当期)		
売上高	116,316	115,390	△926	△0.8%
営業利益	1,526	785	△740	△48.5%
経常利益	1,555	847	△707	△45.5%
四半期純利益	1,315	456	△859	△65.3%

- ・ 売上高：冷凍食品、鯉・鮪は伸長したが水産商事などが減収となり、前年同期比9億円の減収
- ・ 営業利益：好調であった前期に比べ水産商事、冷凍食品などで減益となり、前年同期比7億円の減益



計算書類



4. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2017年 9月末	2018年 9月末	前年 同期比		2017年 9月末	2018年 9月末	前年 同期比
資産の部				負債の部			
流動資産	93,468	95,895	2,426	流動負債	65,871	65,280	△591
受取手形及び売掛金	38,490	38,013	△476	内、短期借入金 (含むCP・CB)	43,611	43,128	△483
商品及び製品	38,140	39,547	1,406	固定負債	27,233	26,300	△932
仕掛品	2,762	3,100	337	内、長期借入金(含むCB)	22,118	21,380	△737
原材料及び貯蔵品	5,991	6,640	649	負債合計	93,104	91,580	△1,524
その他	8,083	8,594	510	純資産の部			
固定資産	26,328	25,938	△389	株主資本	26,315	29,256	2,940
有形固定資産	17,054	15,502	△1,551	その他の包括利益累計額	△3	712	716
無形固定資産	476	517	41	非支配株主持分	380	284	△95
投資その他の資産	8,797	9,917	1,119	純資産合計	26,692	30,253	3,560
資産合計	119,797	121,834	2,036	負債及び純資産合計	119,797	121,834	2,036



計算書類

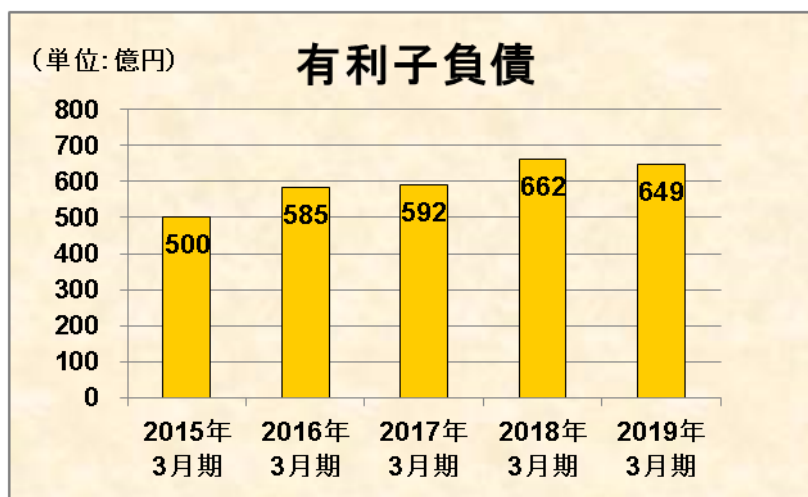
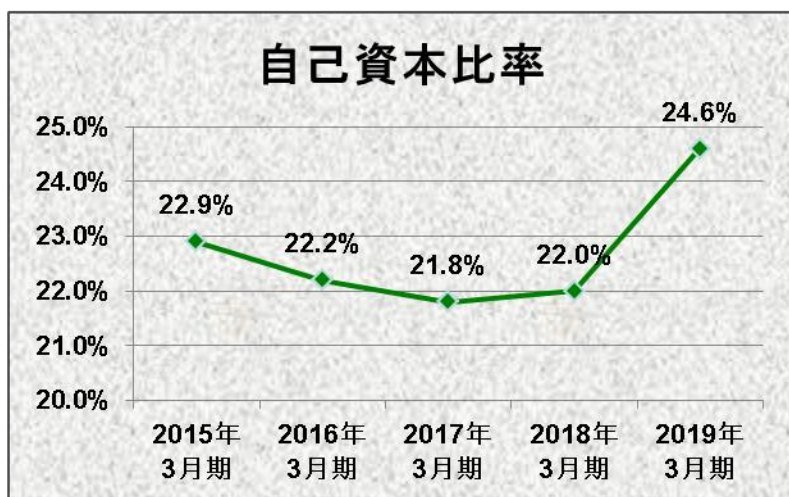
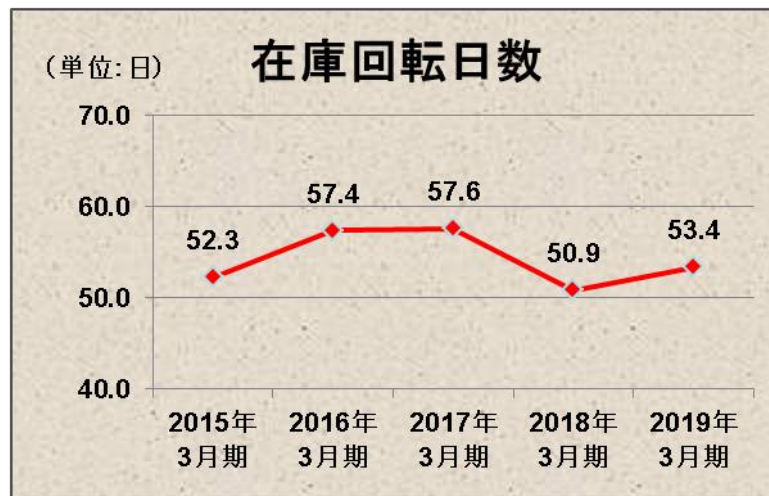
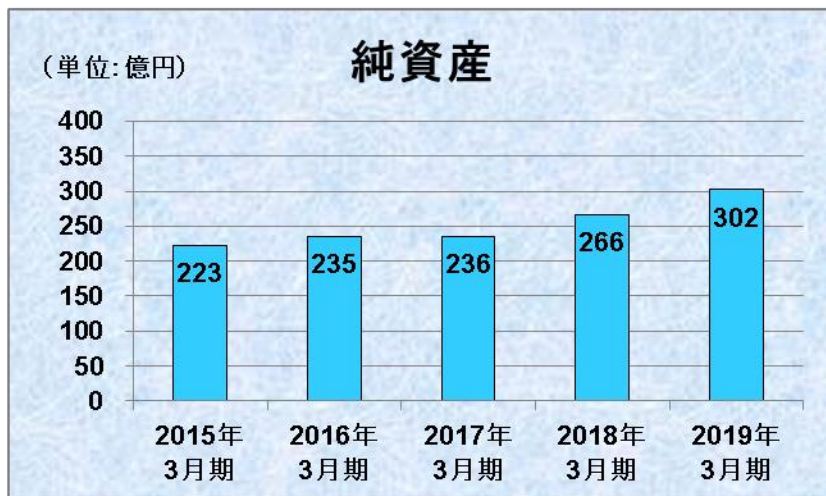


5. 連結キャッシュ・フロー計算書

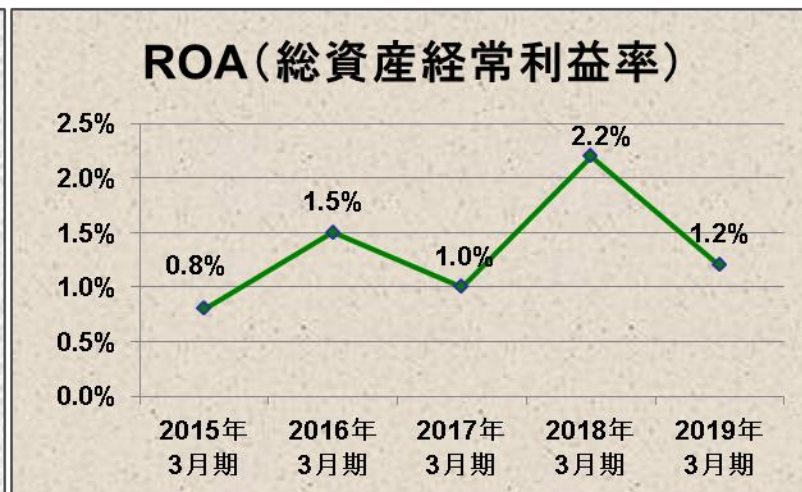
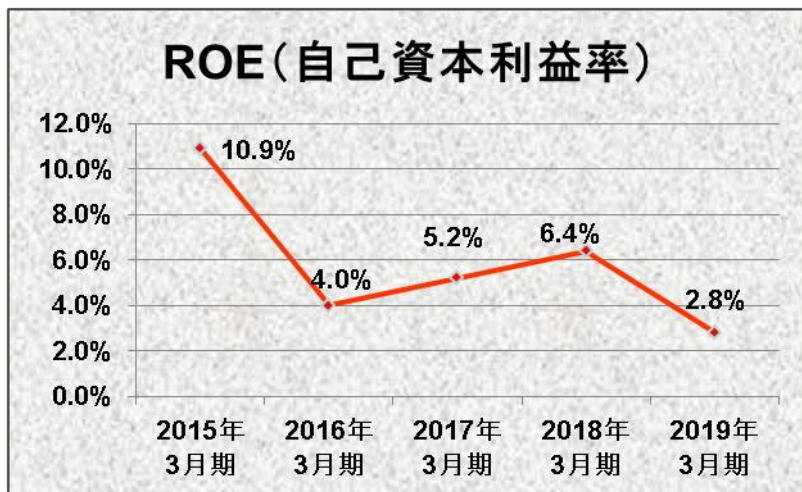
(単位:百万円)

		第2四半期連結累計期間		
		2018年3月期(前期)	2019年3月期(当期)	前年同期比
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前四半期純利益	2,399	1,127	△1,271
	減価償却費	927	909	△17
	売上債権の増減(△は増加)	△9,419	△5,283	4,136
	たな卸資産の増減(△は増加)	△10,140	△9,448	691
	仕入債務の増減(△は減少)	5,025	1,207	△3,818
	その他	641	1,325	684
	小計	△10,567	△10,161	405
投資活動による キャッシュ・フロー	固定資産の取得	△661	△964	△302
	その他	267	△236	△504
	小計	△394	△1,200	△806
財務活動による キャッシュ・フロー	短期借入金の増減(△は減少)	14,121	12,126	△1,995
	長期借入れの増減(△は減少)	766	1,549	783
	その他	△728	△740	△12
	小計	14,160	12,935	△1,224

6. 第2四半期連結財務指標の推移



7. 第2四半期連結経営指標の推移





計算書類

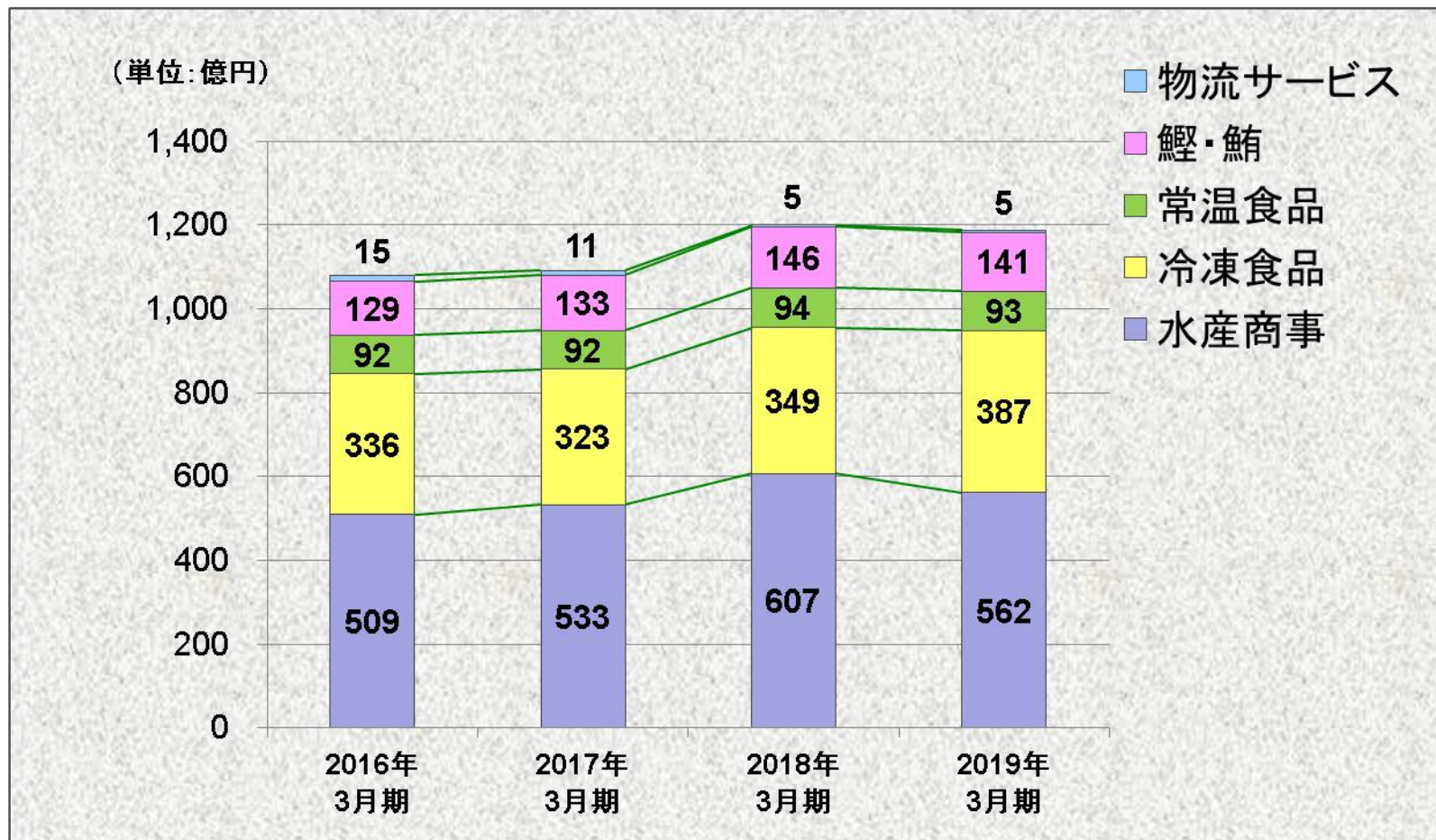


8. 事業セグメント別 売上高及びセグメント利益<連結>

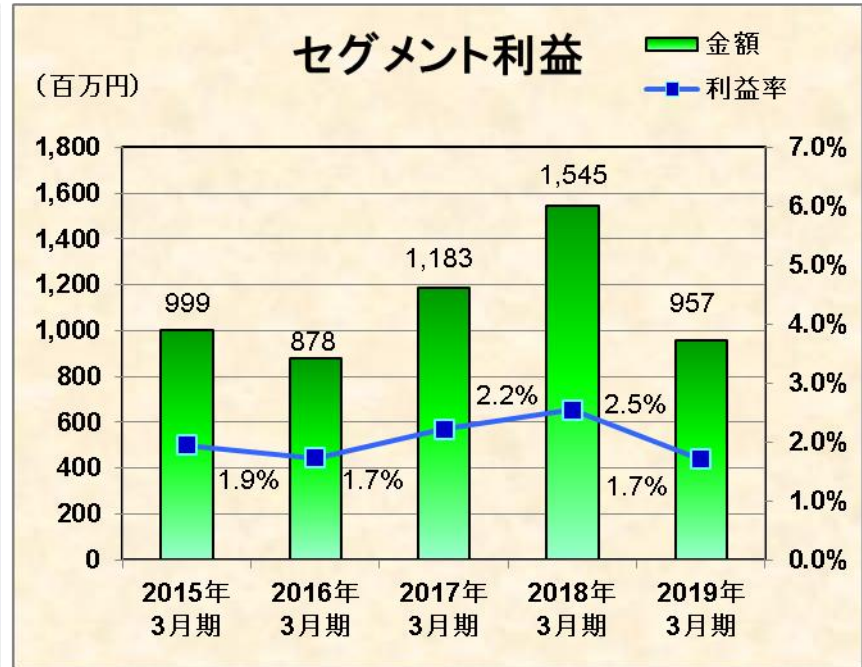
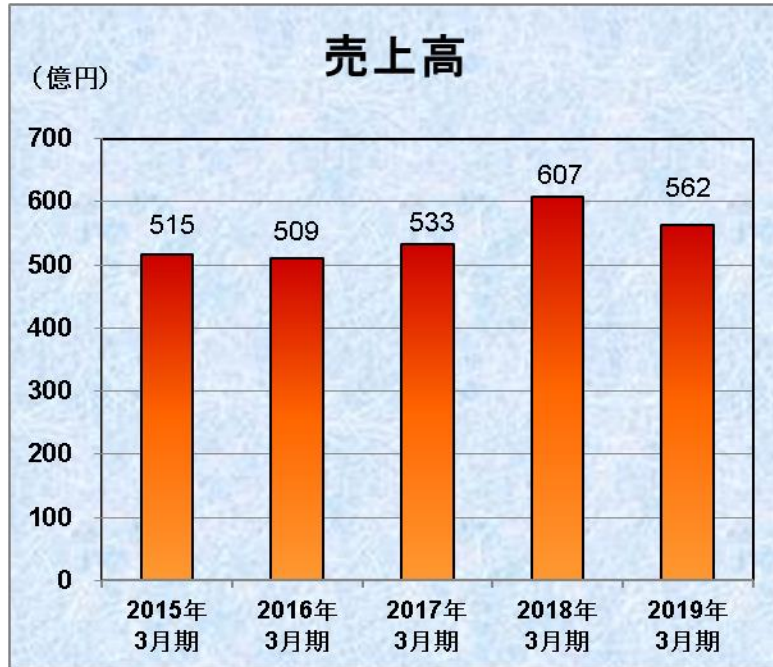
(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	第2四半期連結累計期間		前年同期比	第2四半期連結累計期間		前年同期比
	2018年3月期(前期)	2019年3月期(当期)		2018年3月期(前期)	2019年3月期(当期)	
水産商事	60,714	56,221	△4,492	1,545	957	△588
冷凍食品	34,946	38,772	3,825	555	291	△264
常温食品	9,455	9,369	△85	220	178	△42
鰹・鮪	14,648	14,127	△521	581	150	△430
物流サービス	510	515	4	117	136	18
その他	182	195	12	△774	△640	133
合計	120,458	119,202	△1,255	2,246	1,072	△1,174

9. 事業セグメント別 第2四半期売上高比較<連結>



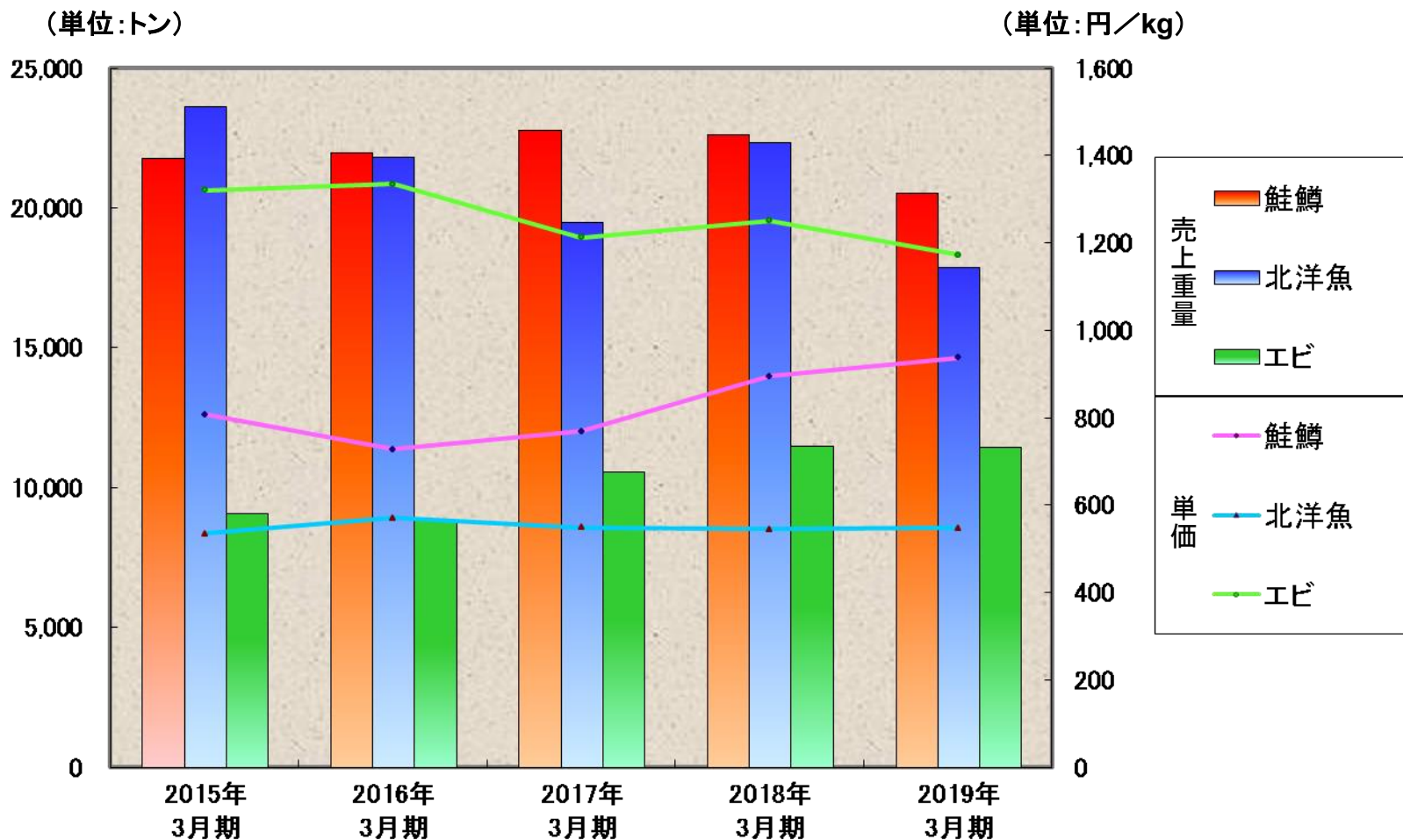
1. 水産商事事業<連結>…水産物の買付及び販売



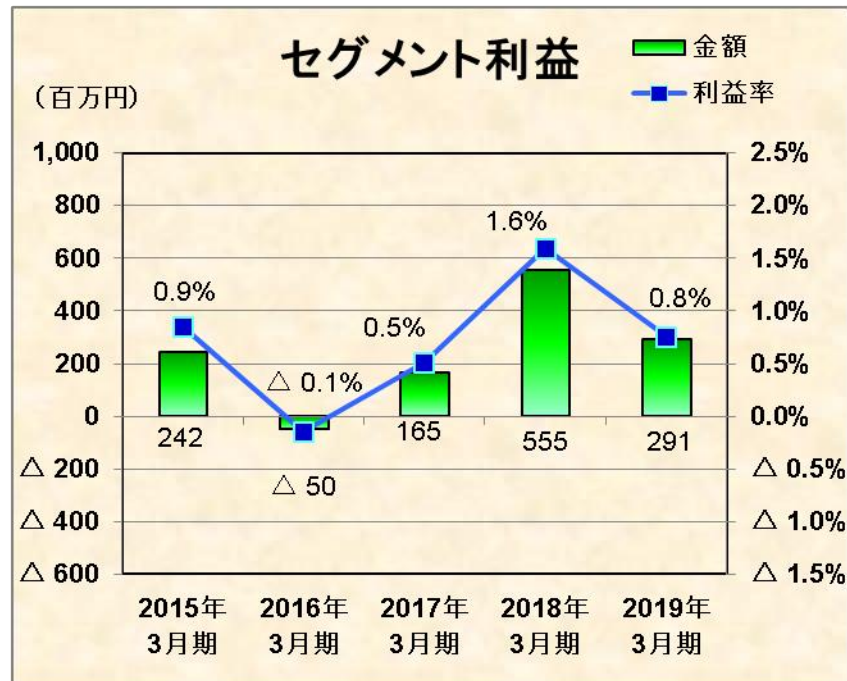
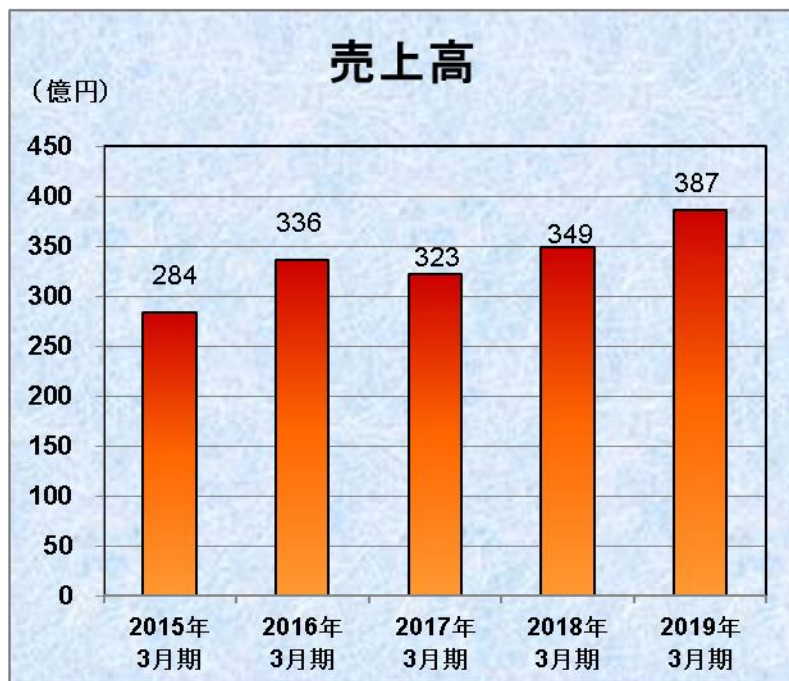
【当期の状況】

- 減収減益
 - 前期から引き続き、北洋魚・エビなどの国内市況が低迷
 - 鮭鱒の利益率が改善
 - 海外販売において、サバ・イワシなどの輸出のほか、米国子会社の現地販売が伸長

水産商事事業〈個別〉…魚種別売上重量・単価推移



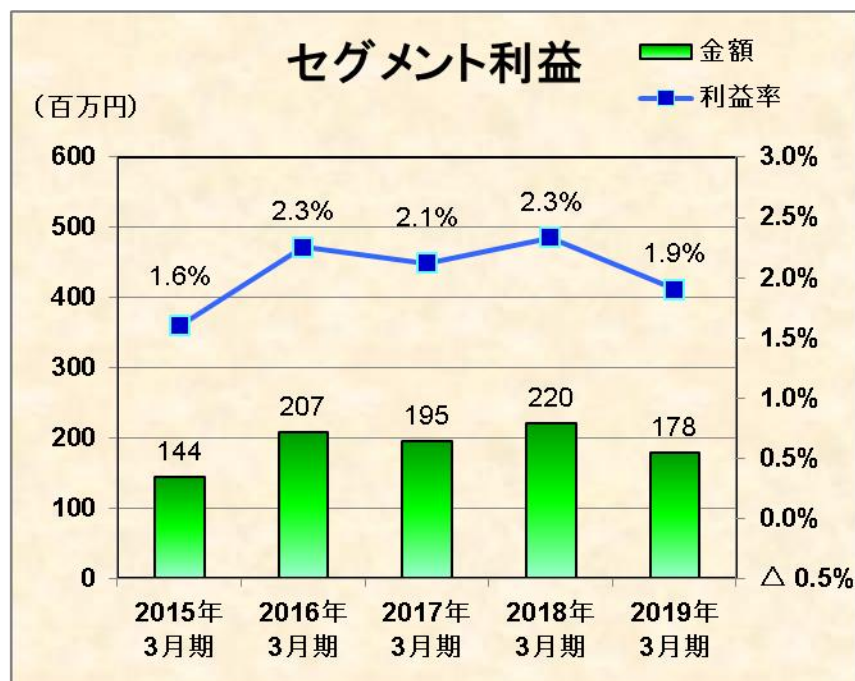
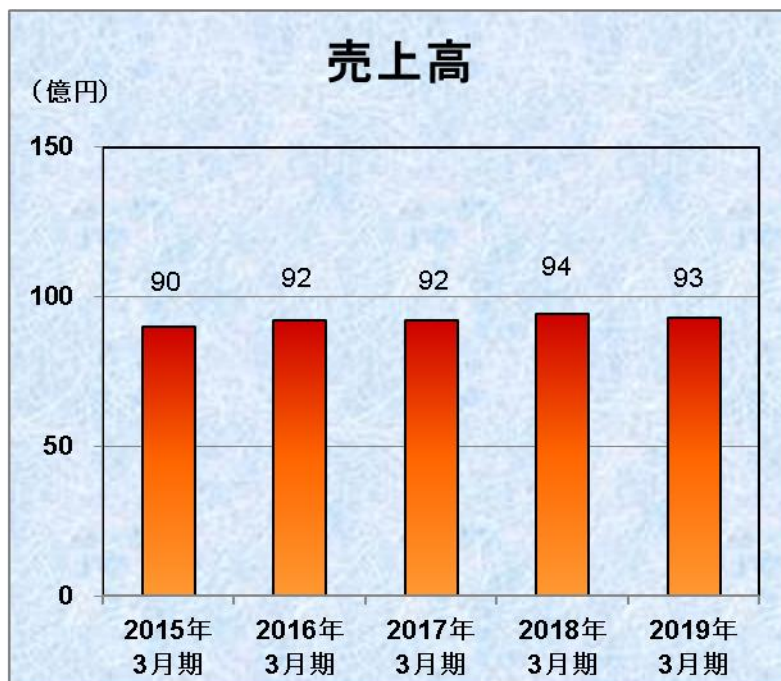
2. 冷凍食品事業<連結>…冷凍食品の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収減益
 - 寿司種を中心とした生食用商品や加熱用商品を拡販
 - カニ風味かまぼこの増産体制を構築し、水産フライ類の販売にも注力
 - 原料価格、物流費の高騰や売れ行き不振製品の影響等により利益率が低下

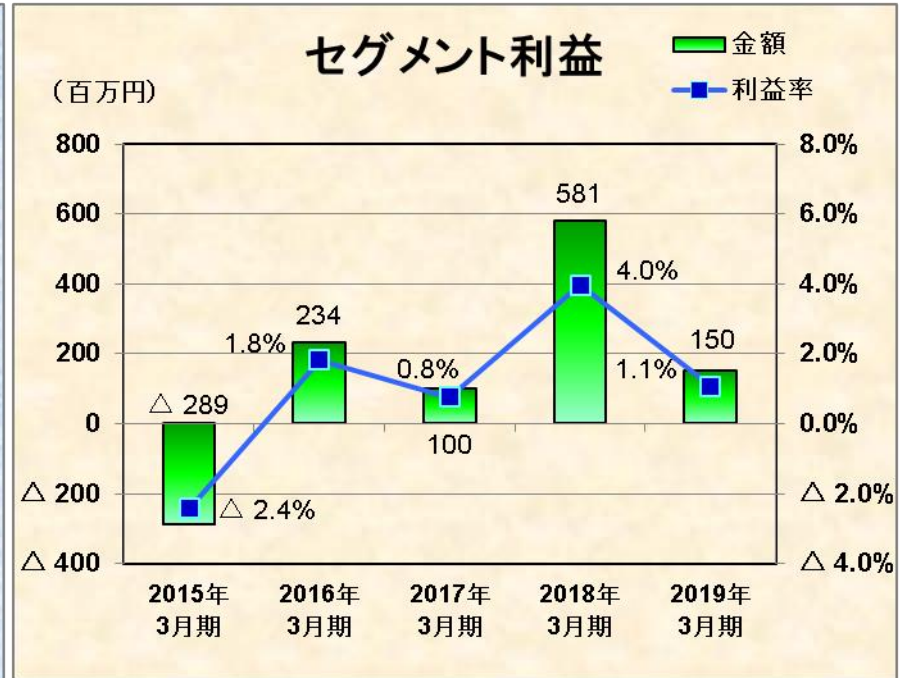
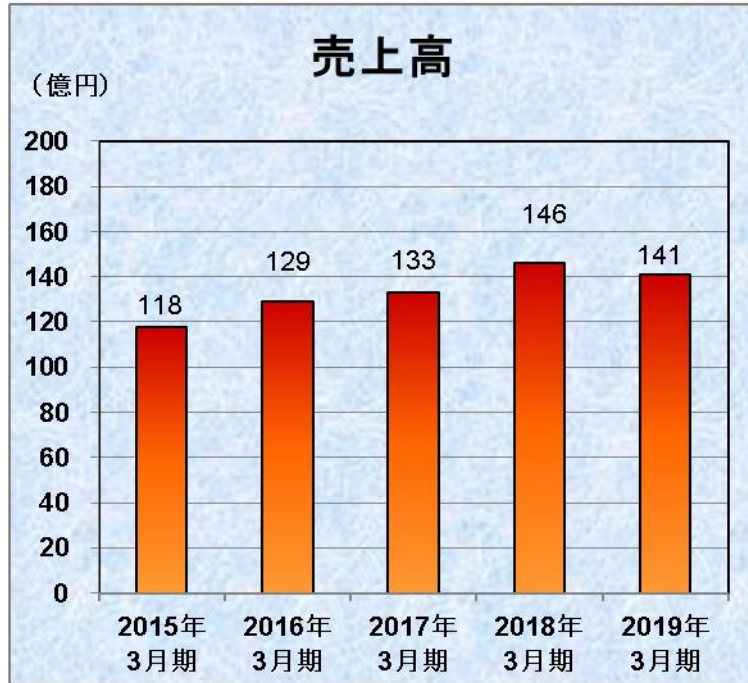
3. 常温食品事業<連結>…缶詰・珍味製品他の加工及び販売



【当期の状況】

- 減収減益
 - サバ缶に対する需要拡大に伴い供給不足が発生
 - 珍味製品は規格変更などのコストアップ対策を実施
 - 原料価格の高騰などにより利益率が低下

4. 鰹・鮪事業<連結>…海外まき網事業・養殖事業・鰹鮪加工販売事業

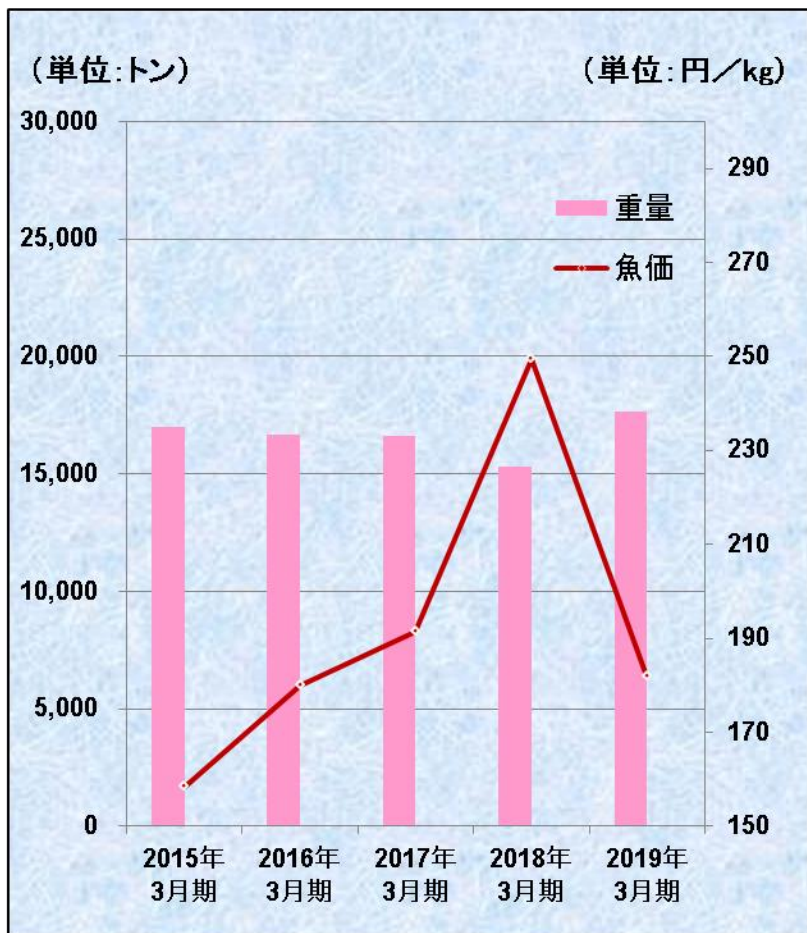


【当期の状況】 □ 減収減益

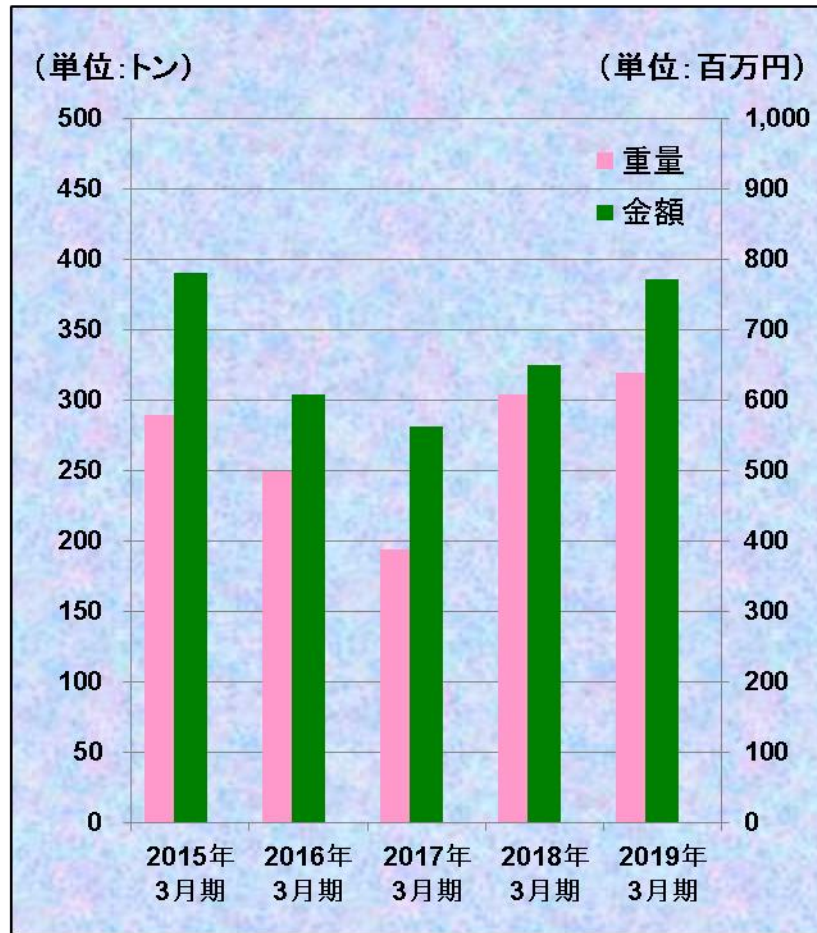
- 《海外まき網事業》 ➤ 水揚げ数量は増加したが魚価が大幅に下落
- 《養殖事業》 ➤ 完全養殖クロマグロ「本鮪の極 つなぐ」を生育状況に合わせて販売
- 《加工販売事業》 ➤ クロマグロなどの脂物製品やマグロタタキ、カツオ加工品の販売が伸長

鯉・鮪事業(上半期)

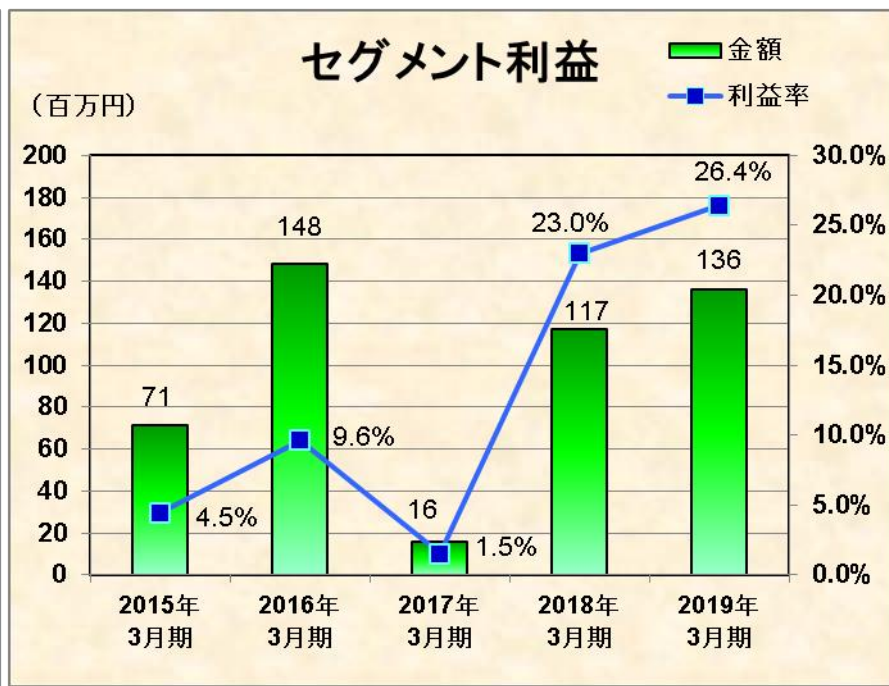
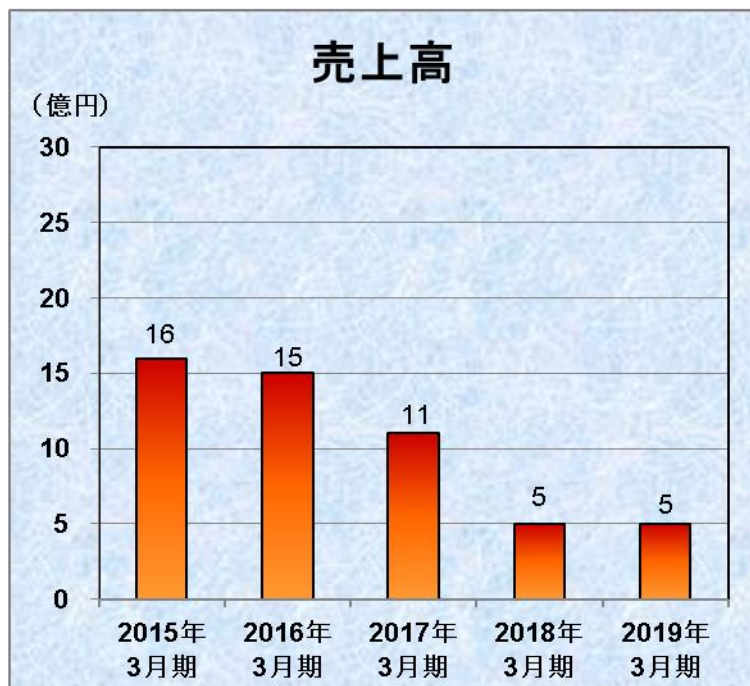
〈海外まき網事業〉…水揚げ推移



〈養殖事業〉…売上推移



5. 物流サービス事業<連結>…冷蔵倉庫事業



【当期の状況】

- 増収増益
 - 冷蔵倉庫事業は在庫貨物の確保を図り営業力を強化
 - 配送事業の強化に努めサービスの向上を推進

※2017年3月期までは冷蔵運搬船事業を含む



2019年3月期 下半期施策及び業績予想

➤ 事業セグメント別の下半期施策

【水産商事セグメント】

- 市況を踏まえ販売に見合った買付と在庫管理を徹底
- 川上から末端に直結した販売ルートの構築と付加価値商品の開発
- 海外拠点との連携による海外マーケットの積極的開拓

【冷凍食品セグメント】

- 直系工場のフル稼働とAIの活用によるコストダウン
- 主要取引先との取り組み強化と極洋商品の販売拡大
- 畜肉及び冷凍野菜の事業拡大

事業セグメント別の施策

【常温食品セグメント】

- 大手量販店をはじめとする主要販売先への販売強化
- 通信販売やECサイト、健康食品の売上拡大

【鰹・鮪セグメント】

- 養殖事業の収益安定化
- 海外蓄養マグロの取り扱い拡大と自社工場の効率的活用
- 海外まき網事業の更なる効率化

【物流サービスセグメント】

- 極洋グループの在庫を核とした庫腹率の向上
- ロジスティクス事業との協業と配送事業の拡大



業績予想



➤ 事業セグメント別業績予想〈連結〉

(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2019年3月期 第2四半期実績	2019年3月期 通期予想	達成率	2019年3月期 第2四半期実績	2019年3月期 通期予想	達成率
水産商事	56,221	132,000	42.6%	957	2,800	34.2%
冷凍食品	38,772	83,000	46.7%	291	1,500	19.4%
常温食品	9,369	20,000	46.8%	178	400	44.6%
鰹・鮪	14,127	31,000	45.6%	150	1,100	13.7%
物流サービス	515	1,000	51.6%	136	250	54.5%
その他	195	0	—	△640	△1,250	—
合計	119,202	267,000	44.6%	1,072	4,800	22.3%

➤ 2019年3月期 設備投資計画

	概要	2019年3月期 9月末実績	2019年3月期 計画
極 洋	塩釜工場関連	0.3億円	2億円
	生産工場関連	0.3億円	1億円
	研究所関連	0.2億円	1億円
	養殖事業海上	0.7億円	1億円
	IT関連その他	1.6億円	6億円
	計	3.1億円	11億円
関係会社	生産工場関連	5.4億円	14億円
	まき網事業関連	1.5億円	2億円
	養殖事業海上	0.2億円	1億円
	IT関連その他	1.0億円	3億円
	計	8.1億円	20億円
合計		11.2億円	31億円



本資料は、2018年9月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 企画部 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。